

2014 年度入試における出題ミスについて

2014 年 1 月 25 日(土)に実施した、一般入試サテライト型 1 日目の「日本史 B」(選択科目)の試験問題に出題ミスのあったことが判明いたしました。本件は、2014 年 11 月 26 日付けで外部より間違いを指摘する文書を受領し、確認を行った結果、出題ミスであることが明らかになったものです。試験実施時には、受験者等から本件についての指摘はありませんでした。具体的な内容および対応は以下のとおりです。

● 出題ミスの箇所・内容

2014 年 1 月 25 日(土)一般入試サテライト型 1 日目
日本史 B 試験問題抜粋

I 次の各問(問 1～問 15)に答えなさい。解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。

問 14 サンフランシスコ平和条約に関する記述として、明らかに誤っているものを、**ア～エ**の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア** 調印時の日本の首相は吉田茂であった。
- イ** 調印と同じ日に日米安全保障条約(新安保条約)が調印された。
- ウ** 沖縄はアメリカの施政権下におかれたが、小笠原諸島は返還された。
- エ** 48ヶ国と調印したが、ソ連や中国などはその中に含まれていなかった。

本設問の正解を選択肢**ウ**であるとしておりましたが、選択肢**イ**においても旧安保条約と記すべきところを新安保条約と表記していたことが判明しました。このため、選択肢**イ**も誤っている記述となることから、選択肢**イ**も正解とすることが妥当となります。

● 出題ミスに関する対応について

この設問について、選択肢**ウ**に加えて**イ**も正解として採点のやり直しを実施いたしました。この結果、当該出題ミスにより、合否判定において不利益を受けた受験生はおりませんでした。

● 再発防止策について

本学では、作題時には科目ごとの問題作成グループにて誤りのチェック体制を採用し、さらに問題作成に携わっていない教員が問題作成グループとは別に校正を全科目に対して行い、複数回のチェックを行っておりました。しかしながら、最終校正段階において、誤字脱字の校正だけでなく問題改善を意図した修正を行い、その妥当性の確認が不十分であったために、今回のミスを引き起こしました。このため、作問全体責任者を任命し出題内容妥当性の精査検証を早期に実施するとともに、最終校正段階での変更は誤字脱字の修正に留め、問題文そのものの変更は行わないものとするようにいたします。これにより、ミスの再発を防止します。

今回、このような出題ミスが発生させましたことは誠に遺憾であり、受験生の皆様をはじめ、関係各位に深くお詫び申し上げます。今後は、入試に関する学内責任組織である入試委員会を中心に、入試問題の点検および校正作業をこれまで以上に慎重かつ厳重に行い、再発防止に努める所存です。

2014年12月9日

多摩大学